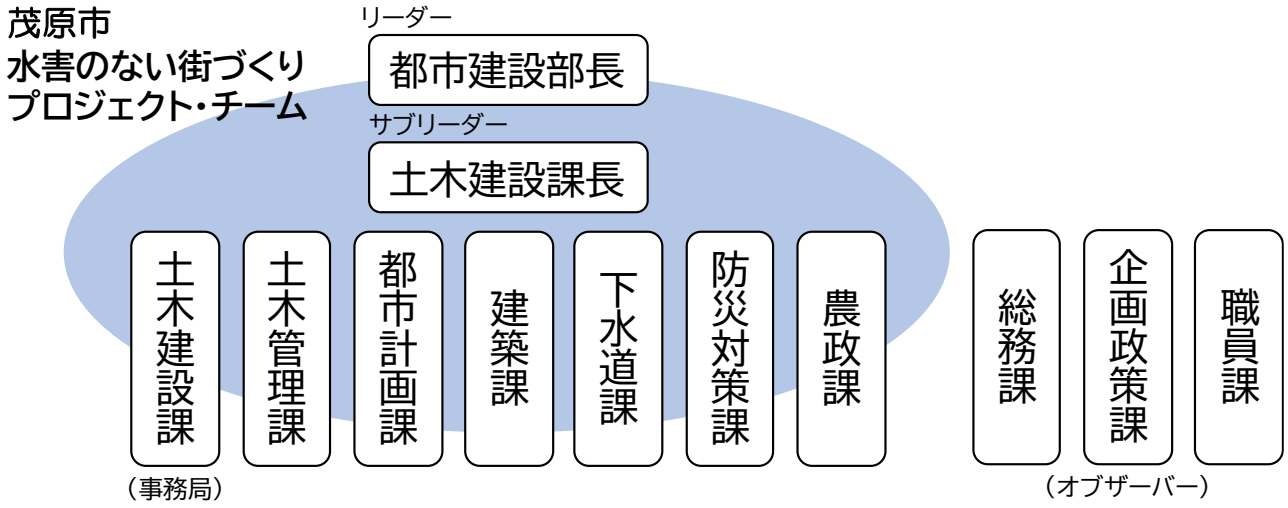
茂原市水害のない街づくりプロジェクト・チームについて

茂原市では、庁内関係部局の情報共有と連携を図り、「水害のない街づくり」を推進するため、12 月 1 日付けで、組織横断的な「茂原市水害のない街づくりプロジェクト・チーム」（以下「プロジェクト・チーム」という。）を設置いたしました。



①　趣旨・目的

茂原市では、平成元年以降、5 回の浸水被害が発生し、多くの市民が床上・床下浸水などの大きな被害を受けています。

千葉県では、流域市町村が行う内水対策や土地利用施策と連携した「一宮川流域治水対策特別緊急事業」を実施し、令和元年 10 月豪雨と同規模の降雨に対して、被害を受けた家屋や主要施設の浸水被害ゼロを目指し、令和 2 年度から「一宮川改修事務所」を設置するとともに、県及び流域市町村から成る「一宮川流域治水協議会」を設置しました。

茂原市では、内水対策、排水機場の適正な管理、ため池の水位調整、田んぼダムの取り組み等を推進してまいりました。

このような背景のもと、庁内関係部局の一層の情報共有と連携を図り、本市における水害のない街づくりを推進することを目的とし、本年 12 月 1 日付けでプロジェクト・チームを設置いたしました。

②　プロジェクト・チームの構成

リーダー　　：都市建設部長
サブリーダー：土木建設課長（事務局：土木建設課）
メンバー　　：土木管理課長、都市計画課長、建築課長、下水道課長、農政課長、
　　防災対策課長及び各所属の課長補佐級・係長級職員
オブザーバー：総務課長、職員課長、企画政策課長及び各所属の課長補佐級・係長級職員